

次期岩手県環境基本計画における指標設定について

1 これまでの指標設定

- 第1次計画（1999年11月）
57指標：7つの施策の柱ごとに数値目標を設定（大項目あたり6～12）
- 第2次計画（2010年12月）
87指標：7つの施策の柱ごとに数値目標を設定（大項目あたり11～21）

（参考）東北他県の環境基本計画における指標の設定数

	指標の設定数	備考
青森県	目標設定指標 37、モニタリング指標 27	モニタリング指標は目標値を設定せず 経年推移を把握
秋田県	施策目標 24	
宮城県	総合管理指標 17	目標値を設定せず、経年推移を把握
山形県	基本目標 6、環境指標 70	
福島県	環境指標 68	

2 指標を設定する目的及び役割・機能

○ 目的

環境基本計画の進捗の状況进行评估する。

○ 役割・機能

計画の進捗状況进行评估する目的は、以下の2点に分解されることから、指標もそれに応じた2層構造とする。

- ① 環境の状況と目標（目指す姿）の達成状況を示す。（総合的指標）※幸福関連指標に相当
- ② 施策の実施状況を示す。（施策推進指標）※具体的推進方策指標に相当

3 次期計画における指標設定

(1) 基本的な考え方

環境基本計画は環境施策の大綱的性格を有することから、より大きな方向性を示すものとして、総合性・代表性の高い指標を基本に比較的少数に絞り込む。

(2) 総合的指標（別紙1）

ア 環境・経済・社会の一体的向上に向けた横断的施策

- ・ 横断的施策の全体的な達成状況进行评估する指標として、国の環境基本計画を参考に、環境と社会経済の関係を端的に表す指標を設定する。
- ・ 当該指標は、横断的施策以外の影響が大きく、目標値の設定が困難であるため、毎年度の進行管理に際し実績値を把握する指標（モニタリング指標）とする。

イ 環境分野別施策

- ・ 環境基本計画としてのメッセージ性を高めるため、施策の柱ごとに総合的かつ代表的な指標を1～2程度設定する。
- ・ 環境基本計画の推進力強化の観点から、目標期間は、従来の5年間から10年間（2030年度）とする。

(3) 施策推進指標（別紙2）

- ・ 主要な施策の方向（括弧数字レベル）ごとにおおむね1～3程度の指標を設定することを基本とし、全体の指標数を圧縮する。
- ・ 目標年次及び目標値は、当該指標を設定している既存の計画と整合させ、取組の実効性を高める。